

【令和5年度授業改善推進プラン 図画工作】

板橋区立高島第三小学校

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none">・ つくること見ることに興味関心があり、意欲的に取り組むことができる児童が多い。・ 基本的な材料や道具の扱いについては、習得している児童が多い。・ 授業の「めあて」を読み取る力、またそれを表現する力に差がある。・ テーマを自分で決めたり、道具や材料を工夫して深めたりといった主体的な活動では、活動が止まったり教員にすぐに助言を求めたりする場面が見られる。・ 友達の作品から工夫を見つけたり、アートカードなどを活用し美術作品に興味を持って鑑賞したりする様子が見られる。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">・ 少数であるが、全く意欲的に活動できない児童への対応が十分ではない。・ 「めあて」を意識させた指導が十分ではない。・ 道具の応用を促す十分な時間の確保と、安全管理ができない。・ 児童が自分で考えて活動する課題に慣れていない。
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none">・ 一つ一つの技法や道具の習得を丁寧に行い、それらを自由に扱えることが意欲につながるため、個々の児童の習得率を把握し、全員が意欲的に取り組めるように指導を行う。・ 「めあて」の文言を見直し、アウトプットするものを児童が最初にしっかりとイメージできるようにする。・ 環境整備を行い授業規律を高め、児童が安全にいろいろな道具を自ら選択して試せるようにする。・ 造形遊び的な活動を学期に一度は行い、児童が材料から自分で活動を選ぶ機会を増やす。